

1年生学校探検（4月22日）

児童玄関から「おはようございます！」とあいさつをし、教室に向かう姿や身支度を整える姿もすっかり当たり前の光景となりました。6年生とも、「お世話される」だけでなく、「一緒に楽しく遊ぶ」関係ができていっています

今日、1年生になって初めて迎えた5時間目、子供たちは「学校探検」に出かけました。教室からとび出した子供たち、仲間と手をつなぎながらおそるおそる少しずつ歩みを進めていく様子、見たことのない教室、薄暗い教室に、「こわいな～」と言いながら入っていく様子から始まり、次第に大胆に、色々な場所を訪ね、かかわろうとする様子にかわっていきましました。

「洗濯機！なんでだ??」「これがかていかしつというのか？」

「前に来た職員室だ」「失礼しますというよ!」「この席にはだれが座っているの?」

「このポスターはどうしてはっているの?」「先生の写真がはってあるよ?」

「グループで行動しないと!!」「何か勉強してる!しーっ・・・」

たくさん「はてな」が見付かって、きっと「次はこうしたい」「もっと見てみたい」が生まれたんでしょうね。

大人にとっては当たり前の空間でも、子供たちにとってその全てが初めての出会いです。新鮮な気持ちで出会い自分から気付いたことは、きっと消えることのない学びにつながっていくことでしょう。

子供たちが新鮮な気持ちで学びに出会うことができるチャンスは一度だけ。それを私たちが妨げることがないように…と改めて考えさせられました。

